

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般レストラン（経営者）	・今月よりも客が来ないという状況は想像しにくいというか、その時点で経営がストップということになってしまう。ワクチン接種が進んで、今よりは多少客が戻ってくるのではないかと期待している。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種者の拡大に期待している。
	○	百貨店（売場主任）	・今年に入り今月が最も低迷している状況である。ワクチン接種が高齢者以外にも進めば景気も上向くと考える。
	○	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が高齢者を中心に完了するか、若しくは1回目の接種を終えた状況になれば、安心感が強まり外出機会が増加することが想定される。
	○	百貨店（経営者）	・ワクチン接種が進むにつれて来客数はある程度は回復していくと推測されるが、購買に結び付くかは、衣食住各領域で起きている消費者の価値観の変化に対応できるアフターコロナの品ぞろえ次第だとみている。
	○	スーパー（経営者）	・7月は東京オリンピックが始まるので、家庭内でのテレビ観戦は確実に増える。家族や友人等との観戦消費の需要が大きく増えることを期待している。ワクチン接種者数の増加と変異株感染拡大がないことを祈りつつ、厳しい消費環境のなかでも、家庭内消費の掘り起こしをしっかりと進めていくことにしたい。
	○	スーパー（経営者）	・現在も来客数が少しずつ増加しており、今後もワクチン接種が進行するとともに買物頻度も上がるとみている。また、東京オリンピックの盛り上がりとともに景気も回復するとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・客単価や購入点数は堅調に推移しているので、後は新型コロナウイルスの感染状況次第だが、各種規制も解除され徐々に落ち着いてくれば夜間の回復が期待できるので、徐々に良くなるのではないかとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・2～3か月後にはワクチンも行き渡り、新型コロナウイルスもある程度収まって人の動きが出てくると、客も少し戻ってくるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、人の動きがより活発になると推測される。
	○	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進むと人の動きが良くなるとみているので、期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、週末の人出が回復し、来客数の増加が見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・盛夏に向け、東京オリンピックを含めイベント需要が高くなると見込んでいる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が高齢者から消費者の中心である若い世代に変わっていけば景気回復が見込める。変異株の影響がどの程度か分からないが、消費が上向くことは予測できる。
	○	コンビニ（店長）	・7～8月は東京オリンピックがあるので、購買意欲も上がり、人が集まる機会や人流が増えていき、今後2～3か月は今よりも多少良くなるとみている。しかし、個別にみれば、シフトが減っている人や仕事がなかなか見つからない人などが徐々に増えているので、収入が下がっている人も多くなっている。また、定年退職する人も加速度的に増えてきているので、半年先、1年先は余り期待できない。
○	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種も進み、今までの我慢が少しずつ緩み、外出できるようになって、秋物の立ち上がりに盛り上がりが出てくることを期待している。	
○	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が予定どおり行われれば、徐々に景気回復していくと予測する。	
○	衣料品専門店（店長）	・現状でも来店客から予防接種が終わったから少し動きが活発化しているという声を聞いている。客の声からも、どんどん接種が終わってくれば経済は動き出すのではないかと期待している。	

○	衣料品専門店（店長）	・ワクチンの職域接種が進みだしてきたこと、東京オリンピック開催など、久しぶりに明るい話題が出てきたことで、徐々にマインドが前向きになり、消費に金を使う方も増えることが考えられる。
○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息も徐々にみえてきており、来年に向けて通常に戻ってくるとみている。家電商品の場合、買換え需要が根強くあるので、単価の上昇が鍵となる。人口の減少もあり、来客数は前年よりも下がっていくとみているが、客の購買意欲も旺盛のようであり、現状同様客単価アップを期待している。
○	家電量販店（従業員）	・東京オリンピックに対する需要が増すことが予想され、売上向上が期待できる。
○	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響が少しずつなくなってきた、納期も間に合うようになってきているので、販売量が少しずつ伸びるのではないかとみている。
○	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足による車両や一部用品の生産調整で、納期遅れや発注後のメーカーからの生産カットが原因でキャンセルが発生しており、現時点ではまだ少し不安もある。しかし、該当しない車種等の納期が早まるなど、ばん回の兆しも見えてきている。
○	自動車備品販売店（経営者）	・当市においては県内他地域に先駆けて実施された大規模施設での新型コロナウイルスのワクチン集団接種が順調に進んでいることもあり、他地域に比べて飲食業を中心に活気が出るのが予想される。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・コロナ禍とはいえ、東京オリンピックの開催により人々の流れも増えていくと予想される。
○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・様々な制約があるものの、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、今後、経済活性化への追い風が吹くものと考えられる。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了した後は活気が戻るとみている。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種が進み、旅行意欲が高くなるとみている。
○	観光型旅館（経営者）	・東京オリンピック開催が凶と出るか吉と出るか不安要素もあるが、ワクチン接種も進んできていることや自粛疲れもあり、現在よりは動きが出てくると考える。
○	観光型旅館（スタッフ）	・全国的にワクチン接種が進んでいる。米国の報道映像により、ワクチンを接種したことで自粛が解禁になったような印象が展開されているので、日本でもそのような状況になるとみている。
○	旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種が順調に進み、新型コロナウイルス感染者数が大きく減った場合は良くなるとみられる。
○	旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種の加速や夏休みの外出気運上昇、国や各県行政による旅行助成キャンペーン等の進行により、現在を底として、回復基調に必ず転じると確信している。
○	テーマパーク（職員）	・ワクチン接種も進んでいるので、行楽需要が増えるのではないかとみている。
○	観光名所（職員）	・身の回りの接種状況も大分進んでいるが、2回目が終わって2週間が過ぎたから動き出したという来店客が増えている。予約数も少しずつだが徐々に増え続けている。今の状況よりは良くなるのではないかと期待している。
○	美容室（経営者）	・政府の見解だと7月中には65歳以上は全員がワクチンを打ち終わり、次の段階に入ってくるとのことである。若者世代が打ち始めてくると客も戻ってくるのではないかと期待している。やはり、ワクチンの接種割合と売上は関連している。
○	設計事務所（経営者）	・ワクチンの接種が進み、明るい話題が増えてきたような感じがある。
○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・9月末までは、来場は少ないが質の高い客が多い現在の状況が続くことを予想している。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・ワクチンの接種率が上がらないため、大型のショッピングセンターへの隣県からの客が非常に少なくなっており、それが当社全体の足を引っ張っている。ただ、楽器は相変わらず高級材が動いている傾向にある。しかし、全体的には厳しい。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・7月末の東京オリンピック、8月のパラリンピックが話題になっているが、ワクチン接種もままならず、安全安心の状況には程遠いので、現在の悪い状態は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数は多少の増減はあるが、今のところは前年の8割程度でいくとみている。ワクチン接種も進んできているので、客も徐々に戻ってくると予想している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・65歳以下の市民にもワクチン接種券が郵送されており、今後のワクチン接種に期待はしたいが、どこまで消費者が飲食を伴った外出に対して意欲的になるのかまだ分からない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・一部地域での緊急事態宣言の影響が、当地域での人出の減少にもつながっている。しかし、ワクチン接種が進むにつれて、新規感染者数も落ち着いてきており、自由な往来が回復したら売上も回復しそうである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・この地域は新型コロナウイルス感染者数が大幅に減少しているので、それに反応して売上の減少もストップするとみている。しかし、寝具業界が盛り返すことは考えられない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（買付担当）	・高齢者以外のワクチン接種の見通しがついておらず、回復要因が見当たらない。しばらくは当月のような状況が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・相変わらず来客数の減少、客単価の減少が続いている。この状況はまだまだ続きそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・節約志向が高まる生活消費傾向へ向かうのではないかと推測している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・コロナ禍で今も内食需要が続いている。2～3か月先までは今の状態は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者の状況に連動するが、現状からの変化は読めず、横ばいと判断する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進んでくれば、外出する人が増えるのだろうか。変異株が続々と出てきているので、先行き不透明である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種を早急に実行し人出を増やさなければ、お中元商戦も期待薄である。夏祭りや行事も全て中止で、祭り用品の売上はゼロの状態である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了し、日本全体の感染者数が減少しない限り、景気は回復しない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・前年比でも改善がなく、新型コロナウイルスにより先が見えない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、外での消費が増えることが予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・生産調整等もあり、3か月先も現状維持が続くとみている。ここ数か月で解消されることは考えられない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・新型車効果もあり商談数は増えてきている。しかし、半導体欠品の影響が大きく、新車を受注しても納入まで2か月から半年待ちが続いている。注文数が売上に直結せず、苦しい台所事情である。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産なのである程度月々の受注量のみえているため、現在とさほど変わらないとみている。ただ、ウッドショックにより、今後の営業活動にこういった要素が入ってくるか、価格転嫁ができるかどうか、どのくらい原材料費等がアップするかまだまだ分からない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果や東京オリンピックによる人流の影響で変わってくる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ワクチン接種が進み、経済活動の回復を期待するものの、生活基盤の変化が進み、今後も現状のまま進むものとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・東京などの大都市からの旅行や出張需要が伸びてくる見通しが立たない。

□	高級レストラン（支配人）	・飲食店用のGo To Eatキャンペーンのチケット期限が6月30日であり、以降キャンペーンによる来客がなくなることがマイナス要因である。宿泊は市が行っている県民対象の割引を使った単価の低い利用が目立っているので、朝食の売上は前年の1.5倍くらいにはなっている。しかし、昼夜の一般の利用は減っている。
□	一般レストラン（経営者）	・ワクチンが行き届いて、企業などが出張や会食などを行える状態にならない限りは、当分の間は低迷状態が続くとみている。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの2回目接種の進捗具合による。状況が変わることを期待したいが、東京オリンピック・パラリンピックが終了し、また、新型コロナウイルスのワクチンの2回目接種が完了してからでないかと旅行に出掛けるのは厳しいという客の声が多いことから、観光業界における今後2～3か月の景気は現状と変わらない。
□	タクシー運転手	・東京オリンピックが開催の方向に動いているが、国内もまだ抑え切れていないのに、東京オリンピック関係者等の来日により新型コロナウイルスの感染が拡散されることが懸念される。
□	タクシー運転手	・ワクチン接種が進んでいるが、慎重に行動をしている人が多い現在の状況から考えると、3か月後においてもワクチン接種は完了していないことから、コロナ禍前のように外出する人は少なく、現状維持とみている。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、良くない状況が継続するとみている。
□	通信会社（営業担当）	・当面、新型コロナウイルスの終息は見込めず、相変わらず活動ができないとみている。
□	遊園地（経営者）	・ワクチン接種の進展に期待しているが、新型コロナウイルスの全国的な推移、東京オリンピック後の状況など不透明である。
□	競艇場（職員）	・今はイベントや無料送迎バスの運行を行っていないので、新規客を獲得できない。
□	美容室（経営者）	・固定客が決まっているので来客の増加は見込めない。
□	住宅販売会社（経営者）	・全体としては前年以上の受注が見込めるが、骨材販売の部門は極端に減少している。
▲	商店街（代表者）	・夏祭りやイベントの中止が続々と発表となるなかで、新型コロナウイルス感染も終息が見えず、東京オリンピックも盛り上がりに欠けており、先行き不透明である。
▲	商店街（代表者）	・まだまだ民間の行事は再開されない上、規制があったり縮小されたりしている。
▲	スーパー（店長）	・3月までは前年の売上を達成していたが、4月以降は右肩下がりの状況である。
▲	スーパー（営業担当）	・天候不順により、県内生産物が不作の影響は秋まで続くともみられ、県内経済環境や消費についても緊縮が高まるのではないかと懸念している。
▲	コンビニ（店長）	・東京オリンピック開催に向けて盛り上がりはあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。ワクチン接種を希望しない人の比率が高く、不安要素が多い。
▲	住関連専門店（経営者）	・東京オリンピック後に感染者が急増して、更なる規制が出るのが予想されるので、年内一杯くらいは商売も我慢の時期が続くとみている。
▲	その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	・東京オリンピック景気を見込んでいたのだが、ニュース報道をみると経済的な起爆剤にはなり得ないようである。感染対策といえばそうだが、余りにも長い期間の自粛は逆のエネルギーとなって噴出するのではないかと。つまりは抑えきれなくなった人々の人流で感染者がまたしても増えて更に締め付けが厳しくなり、企業と人は疲弊してくるのではないかと予想する。
▲	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに尽きる。東京オリンピックその他全てにおいて、まん延すればどんどん景気は悪くなる。読めない部分が多いのでとても怖い。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息が見えておらず、人々の気持ちも上向きではない。まだまだ先が見通せない状況である。

	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明な状況に加え、海外需要と国内生産の鈍化、東京オリンピック需要がないことにより、更に消費動向が下降することを予測している。
	▲	通信会社（営業担当）	・ワクチン接種率が上がり収束に向かうまでは、景気の向上は厳しい。
	▲	通信会社（営業担当）	・ワクチン接種が進むことによって、今後外出する機会が一気に増えてくる。このため、一旦映像サービスや通信環境への加入契約はストップし、これまで控えていた飲食等への出費が増えることが予想される。新型コロナウイルスの感染が収束すれば、通信環境の再構築など法人、個人需要が復活すると期待している。
	▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は半導体部品を使用する商品の手配が難しくなることから、エアコンの工事遅れが出てくることが予想される。リフォームは家計の負担が大きくなる工事は先延ばしされるとみている。
	×	商店街（代表者）	・現在も来客が完全に止まっている状態で、消費の低迷がかなり鮮明になっている。2～3か月先には東京オリンピックが終わるので、リバウンドが出てきて停滞するのではないかとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率がまだ上がっていない。
	×	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が始まり、高齢者の人流は増加するとみているが、64歳以下の人たちにはまだまだ行き渡らないため、集団免疫ができないとなれば外出を控えるような動きが続く。
	×	コンビニ（経営者）	・夏の最盛期であり、例年であれば祭りやイベントで売上が伸びるのだが、大きな祭りが全て中止になったのでかなり厳しい。夏に稼ぎ冬をしのいできた雪国のコンビニにとって、開店以来の危機となっている。冬を越せるのだろうか。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・東京オリンピック等で新型コロナウイルス感染者数が多くなることにより、厳しい状況は長期化する可能性が高い。ワクチンの接種が進んでも、長らく影響が続くと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・東京オリンピック後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるとはいえ、感染者数が増加すると推察すると、消費が上向く要素は見当たらない。早ければ11月以降の年末商戦から少しずつ回復するのではないかとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・和食の店だが、会社関係の宴会がまだ全く動いていない。ワクチン接種の進捗状況次第だが、今年一杯くらいは難しいのではないかとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が完了している世代の人はお昼の会食に来店する機会が増えたが、その他の世代は特に夜の部の会食は皆無である。感染してしまうという部分で迷惑を掛けてしまうという思いがあるようである。全世代が接種完了しないと飲食業には春は訪れない。観光地でもあり繁華街でもある当エリアでは当分は厳しい環境が続く。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・中小零細の取引先を中心に売上不振による業績の悪化が深刻であり、前年ほどの助成金の支援策もなく、疲弊している。
企業 動向 関連	◎	—	—
(東北)	○	食料品製造業（営業担当）	・ワクチンの効果が出て旅行者等が来るようになれば、回復するとみているものの、まだ感染者数が微増している状況を見ると油断はできない。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン接種の順調な進捗や、東京オリンピック・パラリンピック開催により、若干の経済効果は現れるものと期待している。停滞した経済が少し動き出すものとみている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がることも手伝って、人や物の動きが活発になると考えられる。
	○	建設業（企画担当）	・半導体関連産業の受注がみえてきていることと、ワクチン接種の広がりによって、先行きは好感触であるように見受けられる。
	○	金融業（広報担当）	・夏祭りは2年連続中止となったが、ワクチン接種の進展により人の流れや経済の流れが徐々に回復してくるものと期待する。電子部品など一部製造業の受注が好調推移予想される等、元気が回復しつつある業種が増えてきた。

○	広告業協会（役員）	・東京オリンピックが終了して、高揚感が持続し、ワクチン接種が順調に進むのであれば、活発な企業活動やGo Toキャンペーンの復活が期待できるが、感染者数の動向に左右される状態に変わりはない。
○	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、出張や旅行等が増えて土産品も売れることが期待できる。
○	経営コンサルタント	・ワクチン接種の効果か、感染率は低下傾向が続いており、やや明るい兆しが見えてきている。
○	公認会計士	・東京オリンピック開催による人の流れの増加、高齢者のワクチン接種による外出機会の増加などにより、サービス業、小売業、飲食業などでは今よりは業績回復する企業が増えるとみている。建設業、製造業などは大きな変化はないので、全体としての景気はやや良くなると予想している。
○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・売上は前年比107%と良くなっているが、売れている商品に高価格商品は全くなく低価格商品に偏っているのが現状である。新型コロナウイルスの感染状況に連動して景気が悪くなっているため、手取りの給料も少なくなっており、デフレスパイラルが進んでいるようである。
○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・ワクチン接種が進むことで観光やビジネスでの県内の交流人口が増加することを想定している。
○	その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況次第だが、一刻も早く収束してほしいとする願望が地域の景況に良い影響を及ぼすと考えている。
□	農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ果物の生育は順調である。これから桃の最盛期を迎えるが、販売単価が良くなることを願っている。
□	農林水産業（従業者）	・さくらんぼの取引価格が上昇したものの、主力作物である米の価格は生産過剰により値下がりすることが予想される。
□	食料品製造業（経営者）	・東京オリンピックを開催した場合、新型コロナウイルス感染が再拡大するのが怖い。これ以上続くと会社経営もかなり厳しい。
□	食料品製造業（営業担当）	・販売量は前年をクリアし、やや上向きの状態が続くと見込んでいる。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・いまだ収束がみえない。ワクチン接種が進んでも景気に反映するか疑問である。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	・現時点の客の状況、半導体製品ベースの新規開発品見通しから推測するに、現在の状況がしばらく継続すると考えられる。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・現状において明るくなる要素がみられない。
□	建設業（従業者）	・一定額のコンスタントな受注は見込まれる見通しである。コロナ禍で視界不良のため、同程度で推移するものと考えたい。
□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響を受ける現状からはまだまだ抜け出せないとみている。間接的ではあるが辛抱強く客との連絡を取り続けるのみである。
□	通信業（営業担当）	・コロナ禍で設備投資をする企業が減少しており、通信環境へ経費を掛けることをためらう企業が増えている。
□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収まるまでは厳しい状況が続くとみている。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体・自動車関連の受注環境は良い方向にあるが、一般機械加工環境は良い方向に向いているとはいえない。原材料の価格上昇及び仕入れ納入の遅れ等が目立ってきている。見積案件は微増であるが、受注単価は依然として底値である。
▲	窯業・土石製品製造業（役員）	・需要が好転するような特需やプロジェクトがない。景気回復に伴う民間建設投資に期待したいが、先行きが不透明である。
▲	輸送業（経営者）	・トラックや荷役機械の燃料である軽油の値段が上がり続けている。新型コロナウイルス関連で景気が落ち込んでいるときに更に追い打ちを掛けられている。原油価格の推移をみればまだまだ上がりそうである。その場合、今後は荷主がサーチャージに応じてくれるかが鍵となる。
▲	広告代理店（経営者）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント業務などのキャンセルや規模縮小があるため、業況の悪化が懸念される。

	▲	司法書士	・木材不足の影響を危惧する声が出ている。住宅建築コストの上昇に加え、完成工期の延長などマイナス要因となることが予想される。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・主要仕入先の商品が半導体不足により納期遅延状態となっており、しばらく続くことが判明している。代替商品でつなぐしかないが、非常に厳しい状況である。
	×	*	*
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・現状、各県のワクチン接種関連や外資系生保の事務センターの定期増員の受注の特需があるが、2～3か月後も変わらず好景気が続く気配がある。
	◎	人材派遣会社（社員）	・ネガティブ要因は現時点では見当たらない。
	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が予想以上に早く進んでおり、ホテル宴会場の予約が取りにくくなってきている。夏季の旅館予約も好調のようである。旅行会社でも、高額商品が埋まっているようである。
	○	人材派遣会社（社員）	・各企業ともコロナ禍のなかで1年以上ビジネスをしてきているので、売上の立て方や利益の確保の仕方に大分慣れてきている。また、ワクチン接種も進んできているところもあり、求人に踏み切る企業や、先々研修を行いたいという問合せが入ってきている。8～9月での問合せが増えてきている。
	○	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種が進み新型コロナウイルスの脅威が減退すれば、景気は回復するとみている。懸念事項は東京オリンピックで再び新型コロナウイルスまん延が過熱することである。
	○	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種が進んでいる。
	○	職業安定所（職員）	・新規求人数と有効求人数を今年の5月と前年5月で比べると、新規求人数で約200人、有効求人数で約1300人増加しており、前月に続いて増加傾向がみられる。
	○	職業安定所（職員）	・前年に開催できなかったイベントや祭りが少しずつ開催されるようになった。新型コロナウイルス感染のリスクが減るにつれ、近県への観光キャンペーンが消費を後押しするとみられる。
	□	人材派遣会社（社員）	・コロナ禍において大きな変化を期待することは難しい。また、東京オリンピックを控え、第5波が来ることも想定される。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進み、その効果が経済活動に好影響を与えるまでにはもう少し時間が掛かりそうである。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により製造業は厳しい状況にあるが、大型の工場の進出の決定や大型商業施設の開店など、明るさを感じさせる要因もある。
	□	職業安定所（職員）	・ワクチン接種の進展が期待に追い付いていない印象を受ける。飲食業や宿泊業など依然低迷を脱することができない業種があり、業績が回復してきている業種はあるものの、全体的な底上げにはつながらない。
	▲	アウトソーシング企業（社員）	・東京オリンピックなどがあるが、その関係の仕事も全くない。
	▲	学校〔専門学校〕	・東京オリンピックを控えているが、観客の動員規制等により期待される収益が厳しい状況にあり、停滞した経済を回復できる起爆剤にはなりにくいとみられるため、今後も厳しい状況が続くことが予想される。
		×	人材派遣会社（社員）